

四半期報告書

(第27期第1四半期)

自 平成21年1月1日
至 平成21年3月31日

コスモ・バイオ株式会社

東京都江東区東陽二丁目2番20号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 仕入、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	4
3 財政状態及び経営成績の分析	4

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7
2 株価の推移	7
3 役員の状況	7

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	16

第二部 提出会社の保証会社等の情報 17

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 平成21年5月14日
【四半期会計期間】 第27期第1四半期（自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日）
【会社名】 コスモ・バイオ株式会社
【英訳名】 COSMO BIO COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 笠松 敏明
【本店の所在の場所】 東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】 03-5632-9600
【事務連絡者氏名】 取締役経営企画室長 鈴木 忠
【最寄りの連絡場所】 東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】 03-5632-9600
【事務連絡者氏名】 取締役経営企画室長 鈴木 忠
【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所
(東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第26期
会計期間	自平成21年 1月1日 至平成21年 3月31日	自平成20年 1月1日 至平成20年 12月31日
売上高（百万円）	1,653	5,622
経常利益（百万円）	286	464
四半期（当期）純利益（百万円）	175	104
純資産額（百万円）	4,357	4,184
総資産額（百万円）	5,422	5,194
1株当たり純資産額（円）	72,040.86	69,195.75
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	2,905.95	1,729.41
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	—	—
自己資本比率（%）	80.3	80.6
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	162	454
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△306	185
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△66	△151
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（百万円）	995	1,206
従業員数（人）	87	86

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年3月31日現在

従業員数（人）	87 (26)
---------	---------

(注) 従業員数は就業人員（社員及び嘱託を含んでおります。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー及び人材派遣会社からの派遣社員を含んでおります。）は、当第1四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年3月31日現在

従業員数（人）	79 (25)
---------	---------

(注) 従業員数は就業人員（社員及び嘱託を含んでおります。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー及び人材派遣会社からの派遣社員を含んでおります。）は、当第1四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【仕入、受注及び販売の状況】

(1) 商品仕入実績

当社グループでは生産は小規模であるため、商品及び原材料仕入実績を品目別に示すと次のとおりです。

品目別	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
	金額(百万円)
研究用試薬	803
機器	86
臨床検査薬	32
合計	922

- (注) 1. 金額は仕入価格及び製品製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 当第1四半期連結会計期間において、仕入総額の100分の10を超える仕入先として
Santa Cruz Biotechnology, Inc. があります。

(2) 受注状況

当社グループでは受注から納品までの期間が短いこと、かつ受注残高が僅少であることから記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を商品の品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
	金額(百万円)
研究用試薬	1,491
機器	105
臨床検査薬	56
合計	1,653

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 輸出につきましては、売上に占める比率が微小であるため省略しております。
3. 当第1四半期連結会計期間におきまして、売上総額の100分の10を超える販売先はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間における当社を取り巻く環境につきましては、民間企業の研究開発活動は引き続き堅調ですが、大学関係では予算執行等の盛り上がりに欠け、バイオ研究支援市場全体としては引き続き弱い動向がありました。一方為替は当第1四半期連結会計期間平均95円／ドル（今期計画100円／ドル）でありました。

このような環境下、当社は大学・企業関係の年度末需要に向けて販売促進に努め、当第1四半期連結会計期間における売上高は1,653百万円、売上総利益は695百万円、売上総利益率は42.1%となりました。なお、会計基準の見直しにより、当期より、従来は営業外費用に計上しておりましたたな卸資産廃棄損は売上原価に含んでおります。

販売管理費等の費用面につきましてはほぼ計画通りに推移し、営業利益は282百万円、経常利益は286百万円 四半期純利益は175百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が289百万円となったことを主因に、162百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、資金運用を目的とした投資有価証券の購入を行ったことを主因に、306百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いにより66百万円の支出となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、当期首の1,206百万円から211百万円減少して995百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間において、重要な研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	183,616
計	183,616

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数（株） (平成21年3月31日)	提出日現在発行数（株） (平成21年5月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	60,480	60,480	ジャスダック証券取引所	(注)
計	60,480	60,480	—	—

(注) 当社は単元株制度を採用していないため、単元株式数はありません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減額 (株)	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高（百万円）
平成21年1月1日～ 平成21年3月31日	—	60,480	—	918	—	1,221

(5) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成21年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	—	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式60,480	60,480	(注)
端株	—	—	—
発行済株式総数	60,480	—	—
総株主の議決権	—	60,480	—

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

②【自己株式等】

平成21年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 1月	2月	3月
最高(円)	35,100	33,450	32,800
最低(円)	31,100	29,000	28,510

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、当第1四半期連結会計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	794	1,005
受取手形及び売掛金	1,945	1,728
有価証券	630	600
商品	407	444
半製品	1	1
原材料及び貯蔵品	36	39
仕掛品	0	0
その他	97	108
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,912	3,927
固定資産		
有形固定資産	※1 51	※1 52
無形固定資産		
のれん	75	80
その他	98	100
無形固定資産合計	174	180
投資その他の資産		
投資有価証券	698	432
関係会社株式	312	304
その他	273	296
投資その他の資産合計	1,284	1,034
固定資産合計	1,510	1,267
資産合計	5,422	5,194

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年3月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年12月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	471	405
短期借入金	20	20
未払法人税等	112	0
その他	179	240
流動負債合計	783	666
固定負債		
退職給付引当金	146	149
役員退職慰労引当金	99	94
その他	36	98
固定負債合計	282	343
負債合計	1,065	1,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	2,262	2,152
株主資本合計	4,402	4,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△44	△108
評価・換算差額等合計	△45	△108
純資産合計	4,357	4,184
負債純資産合計	5,422	5,194

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	1,653
売上原価	957
売上総利益	695
販売費及び一般管理費	※1 413
営業利益	282
営業外収益	
受取利息	2
持分法による投資利益	24
その他	0
営業外収益合計	28
営業外費用	
支払利息	0
その他	23
営業外費用合計	24
経常利益	286
特別利益	
保険解約返戻金	3
その他	0
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	289
法人税等	114
四半期純利益	175

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	289
減価償却費	6
のれん償却額	4
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△2
受取利息及び受取配当金	△2
支払利息	0
固定資産除却損	0
為替差損益（△は益）	△0
持分法による投資損益（△は益）	△24
売上債権の増減額（△は増加）	△216
たな卸資産の増減額（△は増加）	39
仕入債務の増減額（△は減少）	63
その他	△14
小計	146
利息及び配当金の受取額	17
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	162
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△0
投資有価証券の取得による支出	△305
その他	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△211
現金及び現金同等物の期首残高	1,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 995

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
1. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更したな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。また、これに伴って従来営業外費用に計上していた「たな卸資産廃棄損」は、当第1四半期連結会計期間から売上原価に計上しています。この変更に伴い、売上総利益及び営業利益は18百万円減少しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
1. たな卸資産の評価方法	当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
1. 税金費用の計算	<p>税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p> <p>なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末 (平成20年12月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 158百万円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 155百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 給料手当 110百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 対照表に掲記されている科目的金額との関係 (平成21年3月31日現在)

現金及び預金勘定 794 百万円
有価証券勘定 630
計 1,424
預入期間が3ヶ月を超える —
定期預金
キャッシュ・リザーブ・ファ ンドを除く有価証券 △428
現金及び現金同等物 995

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末（平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 60,480株

2. 自己株式の種類及び株式数

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年3月26日 定時株主総会	普通株式	66	1,100	平成20年12月31日	平成21年3月27日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年3月31日）

当社グループはバイオ研究関連の販売及び一部製造を事業の内容としており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年3月31日）

本邦の売上高は、連結売上高に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末（平成21年3月31日）

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

満期保有目的の債券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が見られます。

	四半期連結貸借対照 表計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(1) 国債・地方債等	—	—	—
(2) 社債	904	895	△8
(3) その他	—	—	—
合計	904	895	△8

2. その他有価証券で時価のあるもの

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末（平成21年3月31日）

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末 (平成20年12月31日)
1株当たり純資産額 72,040.86円	1株当たり純資産額 69,195.75円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額 2,905.95円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額について、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	
四半期純利益（百万円）	175
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—
普通株式に係る四半期純利益（百万円）	175
期中平均株式数（株）	60,480

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第1四半期連結会計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）

著しい変動がないため記載を省略しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年5月14日

コスモ・バイオ株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 古谷 伸太郎 印
業務執行社員 公認会計士

指定有限責任社員 安斎 裕二 印
業務執行社員 公認会計士

指定有限責任社員 飯塚 徹 印
業務執行社員 公認会計士

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコスモ・バイオ株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コスモ・バイオ株式会社及び連結子会社の平成21年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、X B R Lデータ自体は含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8 第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年5月14日
【会社名】	コスモ・バイオ株式会社
【英訳名】	COSMO BIO COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 笠松 敏明
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都江東区東陽二丁目2番20号
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役笠松敏明は、当社の第27期第1四半期（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。